



神戸垂水ロータリークラブ 創立35周年記念 講演会・例会・祝賀会プログラム

第1部 楽器贈呈式

吹奏楽演奏・神戸市立歌敷山中学校
・神戸市立塩屋中学校

第2部 第23回 垂水区民講座

「がんばらない」けど「あきらめない」
～命を支えるということ～

講師 医師・作家

鎌田 實 氏
かまた みのる

第3部 神戸垂水ロータリークラブ 創立35周年記念例会 創立35周年記念祝賀会



The
35th
Anniversary

神戸垂水ロータリークラブ 創立35周年を迎えるにあたって



歓迎のことば

会長 小坂 敏 哉

ロータリーの基本理念である奉仕の理想を求めつつ、ここに神戸垂水ロータリークラブ創立35周年記念式典を開催できますことは、神戸垂水ロータリークラブ全会員にとりまして、最大の喜びであります。

式典を開催するにあたり、国際ロータリー第2680地区神戸第二グループガバナー補佐、小池弘三様はじめ、神戸須磨ロータリークラブ、神戸西神ロータリークラブ、台湾基隆東ロータリークラブの皆様のご臨席をいただき、深くお礼申し上げます。

神戸垂水ロータリークラブは1974年11月30日に神戸須磨ロータリークラブをスポンサークラブとして総勢33名で発足しました。地域に根ざしたロータリークラブを目指し、ロータリーの使命である奉仕の精神を実践してきました。近年では、1993年に行われた視覚障害者に対しての盲導犬10頭の貸与の事業、また5年前の2005年の創立30周年では、垂水区在住の独居老人に対して「ケアライン119」という非常通報システム50台を垂水消防署に寄贈する事業などを行ってきました。このたびの35周年の記念事業としましては、神戸市立塩屋中学校と神戸市立歌敷山中学校の二校にそれぞれ楽器の寄贈を行いました。そして今年で23回目を迎える区民講座では、鎌田実先生をお招きし「がんばらないけどあきらめない。」という題でご講演をいただき区民のみなさまにお聞きいただきます。

しかしこのように盛大に創立35周年の記念式典を迎えられるのも、チャーターメンバーをはじめとする先人のロータリアンの永きにわたるご尽力があつての賜物とおもいます。現在神戸垂水ロータリークラブのメンバーは35人ですが、この35年の間に延べ149名の方が神戸垂水ロータリークラブに在籍しております。この積み重ねたロータリアンの志しを大切にしつつ、次なる発展を目指してまいります。

最後に私達神戸垂水ロータリークラブ会員一同は、35周年を迎えたのを機にロータリーの精神である奉仕の理想を実現させるため、クラブを自己研鑽の道場として努力をしていく所存です。本日御臨席賜りました皆様の当クラブへのご指導、ご鞭撻をお願いするとともに、皆様の益々のご健勝を祈願いたしまして歓迎のことばとさせていただきます。

神戸垂水ロータリークラブ創立 35 周年



第1部 楽器贈呈式

司 会 奉仕副委員長
福 井 勝

13:30	会 長 あ い さ つ	神戸垂水ロータリークラブ 会 長 小 坂 敏 哉
	区 長 あ い さ つ	神戸市垂水区 区 長 横 山 公 一 氏
	来 賓 紹 介	
	基隆東ロータリークラブへ 感 謝 状 贈 呈	基隆東ロータリークラブ 会 長 周 勝 傑
	吹 奏 楽 演 奏	神戸市立歌敷山中学校 神戸市立塩屋中学校
	謝 辞	神戸市立塩屋中学校 校 長 佐 藤 和 一 氏

第2部

15:00～

記念講演会

作家・医師 諏訪中央病院名誉院長

講師 鎌田 實 先生

テーマ 「がんばらない」けど「あきらめない」



【出生】 1948年東京生まれ

【学歴】 東京医科歯科大学医学部卒業

【経歴】 35年間、医師として地域医療に携わり、そのかわら
チェルノブイリ救援活動、イラクへの医療支援にも取り組む。
1991年より18年間、ベラルーシ共和国の放射能汚染地域へ
91回の医師団を派遣し、約14億円の医薬品を支援(JCF)。
2004年にはイラク支援を開始し、イラクの4つの小児病院へ
毎月300万円の薬を送り、難民キャンプでの診察等を
実践(JIM-NET)している。
2009年ベスト・フェザー イエローリボン賞(学術・文化部門)受賞。
現在、諏訪中央病院名誉院長。

【著書】 「がんばらない」けど「あきらめない」「言葉で治療する」「へこたれない」など
著書多数。

謝

辞

35周年実行委員長

由良 博

第3部

神戸垂水ロータリークラブ 創立 35 周年記念例会次第

2010年4月10日 会場・舞子ビラ(舞子の間)

司 会 S.A.A

17:10	登 録 開 始	
	開 会	
	点 鐘	神戸垂水R.C.会長
	日 本 国 歌 斉 唱	唱 歌 委 員 長
	台 湾 国 歌 斉 唱	
	ロータリーソング (R-O-T-A-R-Y)	
	物 故 者 黙 祷	S.A.A
	会 長 報 告	神戸垂水R.C.会長
	来 賓 紹 介	S.A.A
	来 賓 あ い さ つ	神戸第2グループガバナー補佐
		神戸須磨R.C.会長
		基隆東R.C.会長
		親睦活動委員長
	ビ ジ タ ー 紹 介	神戸垂水R.C.幹事
	幹 事 報 告	神戸垂水R.C.出席委員長
	出 席 報 告	S.A.A
	ニ コ ニ コ 報 告	神戸垂水R.C.会長
	35周年皆出席特別表彰 (表彰者)	
	岡田弘三郎 会員	
	吉川弘治 会員	
	35年の歩み	神戸垂水R.C.副会長
	【スライドショー】	
	点 鐘	神戸垂水R.C.会長

神戸垂水ロータリークラブ 創立 35 周年記念祝賀会次第

2010年4月10日 会場・舞子の間

司 会 S.S.A
長谷川良彦

登 録 開 始

開 会

あ い さ つ

神戸垂水ロータリークラブ
会 長 小坂敏哉

乾 杯

神戸西神次期会長

会 食

歌【ジャズ】5曲

歌 手 新川麻子

ショートスピーチ

閉 会 の 辞

チャーターメンバー
代 表 吉川弘治

台 湾 風

日 本 風

「手に手つないで」

全 員

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そして、ロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

R-O-T-A-R-Y

作曲 N.C.Morgan

R-O-T-A-R-Y

That Spells Rotary

R-O-T-A-R-Y

Is Known on land and sea:

From North to South, from

East to West

He profits most who serves the best:

R-O-T-A-R-Y

That Spells Rotary.

The Rotary Club of KOBE TARUMI